

# 「赴任後の一年余を振り返って」

沖縄総合事務局長 竹澤 正明



## 昨

年7月14日の事務局長赴任から1年余を経過し

ました。本号では、この間の率直な感想を述べさせていただきます。

まず、沖縄総合事務局にお寄せいただいた沖縄の方々の温かい励ましに衷心から御礼を申し上げます。各界の行事に参加させていただき、つたないごあいさつをさせていただきながら、なかなか、お名前とお顔が一致しないなか、非礼を寛大に見て

くださった方々の励ましを得て、なんとかやってまいることができました。深く御礼申し上げます。

この一年余で手をつけた仕事の一つに、県下41市町村長さんへの訪問があります。この仕事は、普段からの市町村長さんとの信頼関係を築こうとするものであり、事情によりまだ一部の町村へ伺うことができておりませんが、更に精力的に（前回訪問時の課題のうちお答えできるものは極力用意して）訪問させていただきたく思っています。

また、総合事務局の「総合性」を目に見える形で発揮するため、観光振興、ANA物流貨物基地の活用策、基地の跡地利用の3テーマについて、6つの部の部長すべて、テーマによっては、県、民間の方々の参加もいただいて検討会を開催しています。さらに、沖縄県庁の方々との垣

根を一層低くすべく、いつでも県の方々との意見交換、あるいは、ぎつくばらんな懇談を歓迎いたしております。

こうした取り組みをしてまいりましたが、事務局長としては、まだまだ力量不足と思っています。今後、沖縄の振興について、各地の状況を自分の網膜に焼き付けるくらいに、事業進捗状況と課題を自分のものとする、経済振興策についての各界の皆様意見をくみ上げること、各市町村にある貴重な文化遺産をまずは自分で体感し、これを本土はもとより世界に発信するお手伝いをする、などがあります。

いずれも、難しい課題ではありますが、沖縄のこれからにつき、自分なりの画が描けるよう、努めてまいります。

さらには、沖縄総合事務局のおもろまち庁舎1階に、行政情報プラザがありますが、私どもの様々な仕事県民の皆様の日々の暮らしとどうつながっているか、がビジュアルで分かる各種展示の充実に努めてまいりますので、お気軽に立ち寄りください、と思います。

結びに、沖縄の懐の深さ、と申しましようか、あまり性急にならず、ゆつたりと物事を眺め、人の情を大事にする気風を、皆様の驥尾に付して幾分かでも吸収できたら、と感じています。

引き続き、一層のご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

